

## 修正対応一覧表

No.	ページ	項目	変更前 (パブリックコメント資料)	変更後	変更の理由
1	P3	①構成	「都市計画マスタープラン」は、主に、・・・	「第2次和泉市都市計画マスタープラン」(以下、「本マスタープラン」という。)は、主に・・・	「都市計画マスタープラン」全般論の内容と、「第2次和泉市都市計画マスタープラン」の内容とを明確にするために追記しました。以降のページも、第2次和泉市都市計画マスタープランの内容となる箇所は、「都市計画マスタープラン」を「本マスタープラン」として記述しています。
2	P11	3) 公園	都市公園は、平成25年度で295箇所(139.91ha)が整備されており、人口1人当たりの公園面積は7.5㎡/人となっています。	都市公園は、平成26年度で302箇所(145.26ha)が整備されており、人口1人当たりの公園面積は7.8㎡/人となっています。	最新の情報に更新しました。(出典：統計いずみ平成27年版)
3	P11	4) 下水道	平成25年度で下水道普及率は86.1%、水洗化率は89.5%となっています。	平成26年度で下水道普及率は86.7%、水洗化率は89.6%となっています。	最新の情報に更新しました。(出典：統計いずみ平成27年版)
4	P21	図	サブテーマ	サブテーマ(都市計画の目標の実現に向け重視すべき視点)	サブテーマについての説明を追記しました。
5	P29	自然丘陵地区	信太山丘陵市有地については貴重な生物が生息する里山的環境を保持するとともに、市民が日常生活の中で気軽に自然と触れ合うことができる憩いの場や健康づくりの場などとしての活用を図ります。	信太山丘陵市有地については、生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用を図ります。	パブリックコメントにより修正しました。(別紙「パブリックコメント募集結果概要 No.7」を参照)
6	P36	2) 南部の山間部や信太山丘陵市有地の緑の保全・活用	信太山丘陵市有地についても、市民に身近な憩いの場や貴重種を含む生物生息の場などとして保全・活用を図ります。	信太山丘陵市有地についても、生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用を図ります。	パブリックコメントにより修正しました。(別紙「パブリックコメント募集結果概要 No.7」を参照)
7	P38	9) 地域学習、環境学習の推進	・・・、地域活動団体との連携を図りながら・・・	・・・、市民活動団体との連携を図りながら・・・	パブリックコメントにより修正しました。(別紙「パブリックコメント募集結果概要 No.11」を参照)
8	P41	7) その他公共施設などの充実	・・・、野球場などの新たなスポーツ施設の整備を図ります。	・・・、野球場などの新たなスポーツ施設の整備・充実を図ります。	第5次総合計画と整合させるために修正しました。
9	P48	イ) 建築物の耐震性の強化	イ) 建築物の耐震性の強化	イ) 建築物の耐震性・耐火性の強化	この項では耐震性の他に、市街地の火災の延焼防止・遅延についても記述されていることから、「耐火性」を項目名に追記しました。

## 修正対応一覧表

No.	ページ	項目	変更前 (パブリックコメント資料)	変更後	変更の理由
10	P56	①地域の概況	平成26年3月末時点の北部地域の人口は38,050人、世帯数は17,486世帯です。平成17年から平成26年にかけて、人口は減少、世帯数は増加傾向にあります。 年齢別の人口構成は、平成26年3月末時点で、0歳から14歳が12.3%、15歳から64歳が62.9%、65歳以上が24.8%となっており、市の平均的な人口構成と比較すると、やや高齢者の割合が大きい傾向にあります。	平成27年3月末時点の北部地域の人口は37,619人、世帯数は17,543世帯です。平成17年から平成27年にかけて、人口は減少、世帯数は増加傾向にあります。 年齢別の人口構成は、平成27年3月末時点で、0歳から14歳が11.7%、15歳から64歳が62.5%、65歳以上が25.8%となっており、市の平均的な人口構成と比較すると、やや高齢者の割合が大きい傾向にあります。	最新の情報に更新しました。北西部地域・中部地域・南部地域も同様に更新しました。
11	P62	カ 信太山丘陵や惣ヶ池周辺などの自然を保全し、活用できるように整備を推進します	・信太山丘陵市有地については、市民に身近な憩いの場や貴重種を含む生物生息の場などとして保全・活用を図ります。	・信太山丘陵市有地については、生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用を図ります。	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 7」を参照)
12	P77	地域の主な資源 表内	ホテルが生息するまち	ホテルなど多様な生物が生息するまち	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 17」を参照)
13	P77	地域の主な資源 表内		桃山学院大学	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 18」を参照)
14	P87	地域別まちづくり方針図		・久保惣記念美術館を中心とした周辺地域を重点的に来訪促進につながる環境づくり	全体構想「(3)都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針」や取組みテーマ別構想「3. 何度も訪れたくなるまちの魅力づくり」に記載のあるミュージアムタウン構想に関する内容を追記しました。
15	P89	地域の主な資源 表内	ホテルが生息するまち	ホテルなど多様な生物が生息するまち	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 23」を参照)
16	P91	④地域の課題	生活道路や通学路における安全性の確保や生活排水への対策など、快適な生活環境づくりが必要です。また、地域内は・・・	交通量の増加などが生活環境に影響を及ぼしていることから、生活道路や通学路における安全性の確保が求められています。また、生活排水への対策など、安全・安心で快適な生活環境づくりが必要です。 地域内は・・・	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 24」を参照)

## 修正対応一覧表

No.	ページ	項目	変更前 (パブリックコメント資料)	変更後	変更の理由
17	P102	(2) 地域学習・環境教育の推進	・地域活動団体との・・・	・市民活動団体との・・・	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 11」を参照)
18	P104	(4) 都市農村交流による活性化	・地域住民や企業、大学など多様な主体との連携	・地域住民や企業、大学、NPO、ボランティアなど多様な主体との連携	パブリックコメントにより修正しました。 (別紙「パブリックコメント募集結果概要 No. 26」を参照)
19	P107			【行政の取組み内容】	107ページ～108ページに記載されている(1)～(5)についての説明として追記しました。